

誕生から

5年

登別閻魔やきそば特集

あなたの
お推し



「登別のご当地グルメ『登別閻魔やきそば』が誕生して5年。現在、市内22店舗でそれぞれ趣向を凝らした登別閻魔やきそばを提供しています。あなたのお気に入りの『登別閻魔やきそば』は、どの店のものですか。」

登別のご当地グルメに

北海道有数の観光地として全国に知られる登別市。9種類もの泉質の温泉と豊富な湯量で知名度が高い登別に、新たな食の魅力を創造し、まちの活性化へとつなげようと登別ブランド推進協議会が中心となって平成27年4月に提供開始したのが『登別閻魔やきそば』です。

「北海道産小麦の平麺を使うこと」、「閻魔大王指定の秘密のタレを使うこと」、「登別産または登別近郊の食材を使うこと」という閻魔大王からの3つの掟を守れば、各店舗で自由にアレンジを加えて提供することができる登別閻魔やきそば。平成27年7月には、提供店が集まり、『登別閻魔やきそばの会』を発足。提供店同士、横のつながりをもちながら、スタンプラリーを実施したり、市内外で開催されるイベントにも積極的に出店したりして、登別のご当地グルメとして、知名度を上げてきました。

平成30年4月には、登別閻魔やきそばのおいしさをもっと多くの方知ってもらえるよう、登別閻魔やきそばの会が株式会社わかさいも本舗と協力し、秘密のタレを使ったお菓子『登別閻魔やきそばせんべい』を発売。5月には、登別まちづくり株式会社と株式会社望月製麺所の連携により、登別閻魔やきそばにぴったりのラー油『えんまのなみだ』が開発されるなど、成長を遂げてきました。

ご当地グルメは
地域の人に
愛されてこそ

8月現在、市内22店舗で提供され、市民のみならず登別市を訪れる観光客からも好評を得ているほか、小・中学校の学校給食でも提供され、子どもたちは地域の食材を使用する登別閻魔やきそばで、地産地消をおいしく学んでいます。



登別閻魔やきそばの会 会長 名畑 泰昌さん

市内で自身の飲食店を営む傍ら、精力的に各地のイベントに出店し、登録している。伊の魅力を発信し、ご当地グルメを育てる。

研究や試作を重ね、誕生した『登別閻魔やきそば』。誕生後も認知度がない状況から市内外のイベントへの出店を繰り返して、少しずつ知っていただけるようになってきたのは、「登別のご当地グルメで、地域を活性化させたい」という多くの人の共通した願いのおかげだと思えます。活動を通して、多くの人とのつながりをもつことができ、私にとって登別閻魔やきそばの『閻』は、人と人をつなぐ『縁』でもありました。

ご当地グルメを育てる

市内のみならず、道外においても多くの人に味わっていただいていた登別閻魔やきそばですが、今般の長期間に渡る外出自粛や休業要請、大規模イベントの中止などにより、登別閻魔やきそばを提供する機会が失われてしまいました。未だに感染拡大が続いていますが、市内飲食店では、新しい生活様式や新北海道スタイルに対応した方法で提供しています。

市は、18歳以下の方がいる世帯を対象に市内飲食店で利用できる『登別市エール飲食券』を配布したほか、11月には、市内店舗で使用できるプレミアム付き商品券の販売を予定しています（関連記事22ページ）。

ぜひ、この機会に自身の舌で各店の味を楽しみ、自分好みの登別閻魔やきそばを探してみませんか。